1 全般的事項

問1 体育科の目標はどのようになっているか。

体育科の目標は、専門教育を主とする学科としての体育科の果たす役割を総括的に示したものである。

<目標>

<u>心と体を一体としてとらえ、運動についての理解と運動の合理的な実践を通して</u>、 高度な運動技能を習得できるようにし、心身ともに健全な人間の育成に資するととも に、体育・スポーツの振興発展に寄与する<u>資質や能力</u>を育て、明るく豊かな活力ある 生活を営む態度を育てる。

今回改められたのは下線部分であり、その考え方は次のとおりである。

- (1) 「心と体を一体としてとらえ」については、生徒の心身ともに健全な発達を促すためには、心と体を一体としてとらえた指導が重要であることから、今回特に強調されたものである。
- (2) 「運動についての理解と運動の合理的な実践を通して」については、理論と実践がより一体となって生涯を通じて運動を生活の中に取り入れることができるようにすること、さらには、体育・スポーツの指導者としての基礎を培うことを目指しているものである。
- (3) 「資質や能力」については、運動への関心や自ら運動する意欲、仲間と仲良く運動に親しむこと、各種の運動特性に触れる楽しさや喜びを深く味わえるよう自ら考えたりする力、高度な運動技能、そして、体育・スポーツに関する知識・理解などを指しているものである。

問2 科目の名称及び編成はどのようになっているか。

「体ほぐし」にかかわる内容を現行の科目「体操」に示したことに伴い、科目の名称が「体つくり運動」に改められた。なお、他の科目の名称は現行どおりである。

科目の編成は、現行と同様に分類されており、体育理論と運動を大別し、運動を「体つくり運動」、スポーツ及びダンスに分け、さらにスポーツを「スポーツ I 」(体操競技、陸上競技及び水泳競技)、「スポーツ II 」(球技)、「スポーツ III」(武道等)及び「野外活動」に分けられている。

2 各科目に関する事項

間1 体育理論の内容はどのようになっているか。

目標については、広く「体育・スポーツ」に関する知識を理解し、運動の実践及び健康の増進と体力の向上に活用することができる「資質や能力」を育てることに改められている。

内容は、変化する社会にあって、体育・スポーツの必要性や意義、新たに位置付けられた「体ほぐし」に関する内容など今日的な課題等に対応するために構成されており、示されている内容のすべての事項を履修させることになっている。

	現 行 の 内 容		改訂の内容
(1)	体育の原理	(1)	社会の変化と体育・スポーツ
(2)	体力トレーニングの実践理論	(2)	運動技能の構造と運動の学び方
(3)	運動技能の構造と練習法	(3)	体ほぐしの意義と行い方
(4)	運動と安全	(4)	体力トレーニングの内容と行い方
(5)	現代社会とスポーツ	(5)	運動と安全
(6)	体育施設の運営管理	(6)	体育・スポーツの運営管理

*アンダーラインは変更した事項を示している。

間2 体つくりの内容はどのようになっているか。

目標については、「体ほぐしをしたり」、体力を高めたりするとともに、自己の体力や 生活に応じた体つくり運動を構成し、活用することができる「資質や能力」を育てるこ とに改められた。

内容は、「体つくり運動の実践」と「目的に応じた体つくり運動の構成及び活用」で構成されており、示されている内容のすべての事項を履修させることになっている。

現行の内容(体操)	改訂の内容(体つくり運動)
(1) 体力を高めるための運動	(1) 体つくり運動の実践
ア 身体の柔らかさ及び巧みな動きを髙	ア 体ほぐしの運動
めるための運動	イ 体力を高める運動
イ 力強い動きを高めるための運動	
ウ 動きを持続する能力を高めるための	
運動	
(2) 目的に応じた体操の構成及び活用	(2) 目的に応じた体つくり運動の構成
ア 体力を高めるための体操	及び活用
イ スポーツの技能を髙めるための体操	ア 体ほぐしや体力の向上
ウ 健康増進のための体操	イ スポーツの技能の向上

* アンダーラインは変更した事項を示している。